

特別展「東北 珠玉の仏教絵画（仮）」
開催概要（案）

1 名称：特別展「東北 珠玉の仏教絵画（仮）」

2 趣旨：

仏教美術は、古くより人々の心のよりどころの一つになってきました。本展で取り上げる仏教絵画（仏画）は、描かれる仏の尊さや美しさとともに、ある時は親しみやすさを備え、大切に守り伝えられてきました。

仏画は畿内を中心とする“中央”で主に制作され発展しましたが、平安時代後期に平泉藤原氏が台頭すると、東北地方でもさまざまな仏画が生まれました。その後は他地域からの移動・流入もふくめ、中世、近世を通じて数多くの仏画が東北地方に伝来しています。金銀が多用された作品や写し継がれてきた伝統的な図像がある一方で、庶民の信仰を反映した地方ならではの作品があり、多様な状況を示しています。

本展では、このような東北地方に伝わる仏画の優品や近年の調査で見出された作品など、東北ゆかりの作例を中心に据えながら、他地域に所在する基準的な作品とともに紹介します。この展示により、東北地方における仏画の多彩さとその魅力を知っていただき、仏画の世界に親しんでいただければ幸いです。

3 主催：仙台市博物館

4 後援（予定）：在仙マスコミ各社

5 会期：令和8年9月18日（金）～11月8日（日） 開館日数 45 日
※休館日 毎週月曜日（9/21・10/12を除く）、9/24、11/4

6 会場：テーマ展示室Ⅰ、テーマ展示室Ⅱ、企画展示室、コレクション展示室Ⅱ

7 観覧料（予定）：一般 1,300 円、高校・大学 1,100 円、小・中学生 600 円
※10名以上の団体各 100 円引。

8 展示構成：

- 第1章 経絵の世界
- 第2章 釈迦と涅槃図
- 第3章 阿弥陀と浄土の風景
- 第4章 さまざまな尊像
- 第5章 神仏習合と庶民信仰

9 関連イベント等：

記念講演会、しろ・まち講座、ミュージアムセミナー、友の会広報セミナー、プレイミュージアムイベントなど